

児童の自治的能力を育てる学級活動の工夫

—個を大切にしたい、「エブリ・ワン」シートの活用を通して—

特別研修員 特別活動 坂本陽一（小学校教諭）

【教師の願い】主体性と合意形成力を育み、自分たちで決めるよさを実感させたい。

手立て①

「エブリ・ワン」シートの活用

手立て②

次につなげる振り返り

手立て③

頑張りを見える化

<事前> (休み時間)

- ①話合い前に、自分の考え（理由やそこにこめた思い）を書く。
- ②担任からの賞賛のコメントを読んでおく。

<本時> 【話合い】

- ①合意形成のプロセスの例を参考にして、話し合う。
- ②振り返りの場面で、ICT機器を使い、合意形成できたかを共有する。

●●●さんの「豆を折り紙で代用する」というアイデアがすごいと思った。

●●●さんがハンデをつけるという意見を発表していた。

●●●さんが「そこはどうするの？」と聞いたときテキパキと答えていたのが良かった。

エブリ・ワンシート

5年松組〇番氏名〇〇〇

議題 < 10月20日第3校時 >

クラスのミニオリンピックをしよう。

話合いのめあて

一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるような種目や工夫を、より多くの意見のよさを生かして決めよう。

話し合うこと①

個人種目と団体種目を1つずつ

自分の考え

個人…くつとばし

団体…20mリレー

☆理由・そこにこめた思い

個人…みんなでできてかんたんだから

団体…足がおそくても差が開きにくいから

担任から

得意不得意にかかわらず、だれでもかんたんにできることを考えてよいですね。

自分

話し合うこと②

一人一人が活躍できて、みんなが盛り上がるための工夫

自分の考え

メダル・けい品を用意する。

☆理由・そこにこめた思い

賞品があれば、「よし、がんばるぞ！」思って、みんなのやる気がでるから。

担任から

みんながさらに本気になって、盛り上がりにつながりそうですね。

エブリ・ワンシート

決まったこと

個人…ビー玉すくい

団体…卓球

決める時に大切にしたい理由や思い

自分のアイデアを言いながら、さん成していく気持ち

<活動のふりかえり> ☆みんなで決めたことをやってみた感想・反省を書こう!

卓球では負けてばかりだったが、楽しかった。ビー玉すくいも、「地味だな」と思っていたけれど、けっこう楽しかった。

担任から

思っていたよりも楽しかったり、やってみて分かるよさもあるんだね!

みんなの理由・そこにこめた思いを生かして決めるよう!

- ①新しい考えをつくる!
 - 回転寿司屋さんなら、レストランの子ども、和食がよかったおとも、みんな楽しめる!
 - サッカー + 野球
 - キックベースみたい。
- ②意見を合わせる!
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
- ③優先順位をつける!
 - 今日は、バスケ、
 - 次回は、バドミントンにする。
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
- ④条件をつける!
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
- ⑤少しづつ全部やる!
 - クイズを35分、
 - ビンゴを10分やろう!
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
- ⑥納得してやる!
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
- ⑦多数決をとる!
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
- ⑧その他
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」
 - 「みんなが盛り上がるように、みんなが楽しめるように、みんなが楽しめるように。」



学級活動コーナー



学級通信



<事後> (帰りの会)

- ①決めたこと（ミニオリンピック等）を実践した後、活動の振り返りを書く。

- ②「ワン・アプトーク」で感想を発表し合う。

【目指す児童像】自分たちで決めて、実行して、次につなげられる児童

<成果>

- ①「エブリ・ワン」シートの活用により、一人一人の自発的な発言を促し、話合いが深まった。また、「AとBを合わせる」「納得して譲る」など、自分たちで合意形成をしていく力を高めることができた。
- ②「ワン・アプトーク」では、反省とともに「またやりたい。」「決めたかいがあった。」等、次の活動への意欲も引き出すことができた。
- ③学級活動コーナー、学級通信等の補助的支援により、決めること、決めてきたことが見える化し意欲につながった。

<課題>

- 一人一人の思いを生かした話合いになるよう、何について合意形成をさせたいかを明確にし、「みんなが盛り上がる〇〇をしよう」等の話合いのめあてを工夫する必要がある。
- 児童の切実感を高めるため、学校行事や時期に合わせて話合いをもてるようにする。
- 話合い活動の指導を積み重ねられるよう、より計画的な指導が必要である。